

(作成年月日) 2024年1月24日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 黄疸予測アルゴリズムの日本人新生児における有用性(後方視的検討)

[研究の目的]

新生児黄疸は通常みられる症状ですが、ビリルビン濃度がまれにとても高い値となる場合には、核黄疸を防ぐために光療法が必要となります。ビリルビン濃度は人種によって大きく異なり、日本人は黄疸が出やすい人種です。今回は、ビリルビン濃度の上昇を予測するシステムであるNeoPrediX B.1というシステムが、日本人においても整合性を保つことができるのかを検討することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2023年1月1日から2023年12月31日の間に当院で出生された新生児

○利用する検体・情報

情報：在胎週数、出生体重、分娩方法(経膣もしくは帝王切開)、経皮黄疸計によるビリルビン濃度、血液検査によるビリルビン濃度(行った場合のみ)

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

[研究組織]

香川大学医学部健康科学 准教授 加藤 育子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部 健康科学 担当医師 加藤育子

電話 087-891-2233 (直通) 8:30~17:15

FAX 087-891-2358